



2024年度 ゴールデンウィーク期間ご利用実績

2024年度ゴールデンウィーク期間(2024年4月27日～5月6日)における、JALグループ航空会社便のご利用実績を取りまとめましたので、ご報告します。

【JALグループご利用実績】

※ 前年比は2023年4月27日～5月6日の実績と比較

1. 国内線 (JAL、J-AIR、JAC、HAC、JTA、RAC各社合計)※カッコ内は前年の数字

提供座席数		総旅客数		搭乗率	
	前年比		前年比		前年差
1,314,473席 (1,319,772席)	99.6%	948,254人 (1,021,197人)	92.9%	72.1% (77.4%)	▲5.3pt

2. 国際線 (JAL)

提供座席数		総旅客数		搭乗率	
	前年比		前年比		前年差
244,452席 (232,273席)	105.2%	184,854人 (168,334人)	109.8%	75.6% (72.5%)	+3.1pt

詳細につきましては、添付別紙をご覧ください。

【国内線】下りのピークは4月27日、上りのピークは5月6日で、4月19日時点での予約状況から伸長し、5月6日については9割を超える搭乗率となりました。

【国際線】日本出発のピークは4月27日、日本到着のピークは5月5日となりました。新型コロナウイルス感染症法上の位置付けが5類に移行して初のゴールデンウィークとなり、総旅客数は前年を大きく上回りました。特に、前年のゴールデンウィークでは運航・入国規制が継続していた東アジアが大きく伸長しました。

以上